



東京都港区新橋5・15・5
交通ビル4階
発行責任者 長岡正之
編集責任者 寺崎 浩

国鉄労働組合
東海エリア本部

実質賃金の低下を強いる回答

JR東海 ベア 1,000円 夏季手当3・05カ月 JR貨物 17年連続のベアゼロ

JR東海は3月17日、国労に対して16春闘の回答を行いました。回答の内容は、「平成28年4月1日現在の35歳ポイントの基準内賃金を、標準乗数4相当の定期昇給額分とは別に、1000円(0・31%)引き上げる」としています。また、同時に回答があった夏季手当については、3・05カ月でした。

16春闘で国労は、1万5000円のベアアップを基本として全国一斉に2月12日に申し入れを行いました。国労東海本部は、2月25日の趣旨説明から回答まで計7回の交渉を会社と行ってきました。16春闘では、物価上昇と社会保険料負担の増加で労働者の実質賃金が減少していること、さらに年明けからの円高・株安傾向が進行している中、さらに消費支出が減退し経済が縮小・悪



「3・10国労中央行動」でデモ行進した国労東海の仲間たち。日本経済の活性化にはすべての労働者の賃金引き上げが必要であること等を訴え、職場や地域での闘いを背景に交渉を進めてきました。

16春闘では、物価上昇と社会保険料負担の増加で労働者の実質賃金が減少していること、さらに年明けからの円高・株安傾向が進行している中、さらに消費支出が減退し経済が縮小・悪化している状況からこそ、日本経済の活性化にはすべての労働者の賃金引き上げが必要であること等を訴え、職場や地域での闘いを背景に交渉を進めてきました。

会社は回答の席上、「これまでも社員の賃金水準の向上には十分に取組んできた中で3年連続のベアアップということになります。これは、安全安定輸送の確保を第一に、本格化する中央新幹線建設工事ははじめとする各種施策の着実な推進と業務執行全般にわたる低コスト化・効率化にすべての社員がこれまで以上に士気を高め、一致団結して取り組むことを強く期待」して1000円のベアアップを決定したと述べました。国労は、3年連続のベアアップがあったことは評価できるが、ベア実施金額は国労要求とも乖離した低額回答だということ。

さらに、実質賃金の低下に歯止めがかかる賃上げとはなっておらず、社員の生活向上の観点からも到底納得いくものでなく、大変不満の残る回答だとして持ち帰り検討としました。夏季手当についても昨年を上回ったとは言え、業績が史上最大の中、労働者への配分が低く

社員に還元しない 姿勢に強く抗議

貨物会社は3月18日、国労に対して16春闘の回答を行ってきました。内容は17年連続となるベアゼロでした。交渉では、「切実な労働条件改善要求」個人署名、さらに『「ベア完全実施」を求める要請書』を提出し、社員の切実な生活改善を会社に強く訴えたものの、その内容が生かされない回答となりました。

国労は、①17年連続となるベアゼロは、社員の労苦にちなないばかりか、来年度の鉄道事業部門の黒字化に向けた社員の士気を削ぐもの、②貨物会社はこれまでJRカード廃止、期末手

抑えられたもので、国労要求の3・2カ月にも達せず、不満であり持ち帰り検討としました。同日、執行委員会と地方代表者会議を行い、春闘及び夏季手当回答に対しての取り扱いを議論し、不満は大きいものの3月18日12時をもって妥結することとしました。

当低額抑え込み、諸手当の廃止等でこの5、6年は社員・家族は塗炭の苦しみを味わってきた。この回答は到底受け入れられない、③5期連続黒字決算、27年度通期見通しは事業計画を上回ることが見込まれる状況で、来年度事業計画は発足以降2番目になる高水準の経常利益の確保を目指しておりベアを実施する体力は十分にある、④「ゼロ」回答で社員に還元しない姿勢に対して強く抗議するとし、持ち帰り検討としました。

そして直ちに闘争指示61号を全国に発し、抗議行動を3月25日正午まで展開しました。なお、貨物会社は①定期昇給の実施、②55歳以上3000円の賃金改善措置、③嘱託社員の賃金改善、④その他諸手当の改善について、回答を口頭で行いました。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

類焼損害保障

個人賠償保障

借家人賠償保障
+ 修理費用

※借家にお住まいの方のみ

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共済火災海上保険協を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

B1424401E2144-20150209

春闘勝利・戦争法廃止へ各地で統一行動

早朝宣伝や学習・署名など多彩に展開

16春闘で要求実現をめざして各地で闘いをすすめています。3月10日には「国労中央総行動」が取り組まれ、東海本部の各地本も積極的に参加しました。また、「16春闘貨物行動」を14日(名古屋)と16日(静岡)に取組みました。

静岡地本

国労静岡地本は3月16日を「2016年春闘地方総行動」と位置づけ、決起集会を開催しました。18時から、JR貨物富士駅北側で貨物会社に対し、賃上げ獲得・労働条件改善等を訴えました。集会には、組合員・OB・地域の支援の仲間約50人が結集。国労静岡地本の組織力もアピールできました。集会の冒頭、若原地本委員長



(上)「16春闘貨物行動」で宣伝する国労東海の仲間(3月14日、JR稲沢駅)
(左)静岡地本の「地方総行動」(3月16日、JR貨物富士駅)



東部支部の「戦争法廃止200万署名」行動(3月4日、三島駅)

は、16春闘勝利に向けて全ての仲間と共に闘う決意を述べ、東海本部の長岡委員長は、JR貨物の16年連続ベアゼロを何としても打ち破り賃上げを勝ち取ろうと挨拶しました。地域の支援の仲間からも力強い連帯の挨拶を受けました。さらに、全国貨物協議会の瓜田事務局長からは、貨物会社との交渉経過等が報告され、貨物職場の代表からは、厳しい職場実態

や生活実態の報告と同時に賃上げ獲得、諸要求実現に向けて闘う決意と訴えを貨物会社につづけました。シュプレヒコールでは、「16春闘勝利」「貨物会社のベアゼロは許さない」「大幅賃上げ獲得」「労働条件改善」「戦争法廃止」等を全員で唱和し、芹澤青年部中央常任委員の「団結がなんぼろう」で集会を閉じました。なお、集会の前段の10時と17時には静岡支部を中心に「春闘宣言」「戦争法廃止2000万署名」行動を展開。さらに4日には東部支部、11日には浜松支部が署名行動を実施して「地方総行動」を盛り上げてきました。

総行動」を盛り上げてきました。
機関紙「国労静岡」より抜粋

新幹線地本

新幹線地本は、「1万5千円の賃上げ」を

はじめとした労働条件の改善を求め、3月10日、主要各都市において街頭宣伝行動を展開し、通勤途中の人たちにビラの入ったティッシュを手渡し、要求を訴えました。東京地区では、品川駅通勤バス乗り場に20人の仲間が参加。バス乗り場に向かう人に、元気「おはようございます」と声をかけ配布しました。朝食休憩後には品川駅港南口に場所をかえて宣伝行動をしました。浜松地区では、7時より浜松工場正門前にて行動を開始。冷たい風が吹き荒ぶ中、4人の仲間約300個を配布しました。名古屋地区では、名古屋駅西口則武交差点において7時30分



大阪地区では2カ所で36人が参加して宣伝行動を行った。

より9人の仲間が350枚を配りました。

大阪地区では8時から新大阪駅北口前とニッセイ新大阪ビルへの歩道連絡橋の2カ所で36人の仲間が宣伝行動を行いました。早朝から各地でのビラ配布等の街頭宣伝行動に続き、東京地区では南部労政会館で「系統別交流会」を開催しました。名古屋地区では、名古屋国鉄会館で、元名古屋分会の花田氏を講師に「春闘学習会」を開催し、格差・年金問題等を学びました。

大阪地区では、毎年恒例の「職能別交流・学習会」を開催し、職場での様々な問題を出し合い交流を深めました。

大阪地区では、毎年恒例の「職能別交流・学習会」を開催し、職場での様々な問題を出し合い交流を深めました。
機関紙「国労新幹線」より抜粋

大阪地区では、毎年恒例の「職能別交流・学習会」を開催し、職場での様々な問題を出し合い交流を深めました。
機関紙「国労新幹線」より抜粋

「がん」の保障 << 新生きるためのがん保険Days >>

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～満85歳

Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円
	上皮内新生物の場合	一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき	治療を受けた月ごと	10万円
(上皮内新生物は対象外) 抗がん剤治療給付金	乳がん・前立腺がんのホルモン療法	5万円
※Aプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。	治療を受けた月ごと	5万円
がん専門相談サービス プレミアサポート	治療を受けた月ごと	5万円
がん専門相談サービス プレミアサポート	このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです。	

「生きる」を創る。Affac

◆月私保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在)

新生きるためのがん保険Days Aプラン 年1

入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ

保険料払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

<< 専業代理店 >>

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822

<< 引当保険会社 >>

アフラック 東京第二法人営業部

〒103-0456

東京都港区西新橋2-1-1 新橋三井ビル

東京駅前に関するお問い合わせ・各種お手続き

コールセンター 0120-5555-55